

施策(小)評価シート

1 基本情報

年度	21	施策名(小)	健康づくり推進体制の充実	担当部課名
政策名	すこやかに暮らせる、心かようまちづくり			健康福祉部健康介護課
施策名(大)	健康			
施策名(中)	健康づくり			
目的	若年期からの生活習慣病予防の意識向上と生活習慣病予防を図り、もって市民の健康増進に寄与する。 健康づくり推進協議会、歯科保健推進協議会等を中心に地域ぐるみで健康づくりに取り組む一方、自主的活動団体の組織化や指導者の育成につとめ、生涯を通じて、各年代層に応じた健康づくりを推進する。			

2 評価指標

指標名	単位	実績値			目標
		19年度	20年度	21年度	22年度
39歳以下基本健診受診者数	人	297	144	144	200
がん検診受診率	%	19.9	18.6	18.0	35.0
健康・福祉フェア参加人員	人	1,270	1,360	1,410	1,400

3 施策に対する投入資源

投入資源	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
	事業費	千円	50,252	27,046	30,019
人件費	千円	27,643	25,246	24,710	24,932
合計	千円	77,895	52,292	54,729	58,396

4 施策評価

	評価判定	判定理由及び課題等
①目標の達成状況	○ ◎ 概ね順調に推移している ○ 一定程度進展している △ 少しは進展している ▲ 進展していない	基本健診受診者の増が課題であるが新たな受診者を増やすには工夫が必要である。
②社会情勢の反映・有効性	○ ◎ 有効に対応できている ○ 情報把握に努めている △ あまり対応できていない ▲ 有効に対応できていない	検診に対する意識及び受診機会の見直し。
③構成事務事業の妥当性	○ ◎ 効率的な構成である ○ 改善が必要な事業がある(1事業) △ 改善が必要な事業がある(複数) ▲ 構成自体に問題がある	受診者の増加に向け工夫が必要である。
④業務方法の効率性	○ ◎ 効率的に進めている ○ 改善等の余地が一部ある △ 改善等の余地が大きい ▲ 抜本的な改善等が必要である	検診方法については絶えず効率性を追求する必要がある。
⑤施策の総合評価	B A 継続 B 改善 C 再構築 D 見直し・縮減	方策を検討しながら今後も推進する。

5 施策の推進に向けた今後の対応

既存事務事業及び新規事業の方向性	事業周知の徹底、機会の拡大。
------------------	----------------

6 構成事務事業

NO	事務事業名 事業開始年度	指標名 (単位)			投入資源(千円)		妥当性
					事業費	人件費	
		20年度実績	21年度実績	22年度目標	20年度	20年度	
					21年度	21年度	
			22年度	22年度			
1	健康づくり事業 -	がん検診受診者数 人			2,159	838	-
					2,160	841	
		305	235	270	2,774	862	
2	献血推進事業 -	献血者数 人			0	906	-
					0	907	
		183	153	150	0	929	
3	保健対策推進事業 -	推進協議会協議項目数 回			75	991	-
					55	989	
		2	2	2	95	1,012	
4	健康増進事業 -	がん検診 %			24,512	21,021	-
					27,504	20,497	
		19	18	35	30,295	20,628	
5	健康・福祉フェア -	健康・福祉フェア 人			300	1,490	3
					300	1,476	
		1,360	1,410	1,400	300	1,501	
6					0	0	
					0	0	
					0	0	
7					0	0	
					0	0	
					0	0	
8					0	0	
					0	0	
					0	0	
9					0	0	
					0	0	
					0	0	
10					0	0	
					0	0	
					0	0	
11					0	0	
					0	0	
					0	0	
12					0	0	
					0	0	
					0	0	

第三者評価委員会意見

基本的な方向性については、進展していると評価できるので、現状に満足することなく、施策目的である健康づくりを推進するため、健康意識を持っていない人への意識啓発をさらに進めていただきたい。

事務事業における健康増進事業については、未受診者に対する電話調査の実施など、受診率向上に有効にはたらくと思うので、更に様々な方法の中から効果的なものを検討実施し、受診率向上につなげていただきたい。また、健康福祉フェアについては、健康意識を高めるための位置付として進めるには、更なる工夫や方策の検討をいただきたい。